

## 資料 4

# 国土交通大臣提出資料

- 政府は、**第3次交通政策基本計画**において、新たに自動運転の数値目標として「**2030年度1万台**」を設定
- 国土交通省は、自動運転に係る取組の推進や普及に伴う社会変容への的確な対応のため、**大臣を本部長とする「国土交通省自動運転社会実現本部」**を設置
- **担い手不足解消**や**交通事故の削減**に効果的な自動運転社会の早期実現に向けた**取組を強力に推進**

**第3次交通政策基本計画 自動運転KPI**  
(令和8年1月16日閣議決定)

**2030年度における自動運転サービス車両数※ 10,000台**

※ 全国のバス、タクシー等の公共交通、幹線輸送トラック車両

**国土交通省自動運転社会実現本部**

目的：**自動運転社会の早期実現**に向けた取組を強力に推進するとともに、自動運転の**普及に伴う社会変容に的確に対応**

本部長：国土交通大臣  
本部員：国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、関係局長等

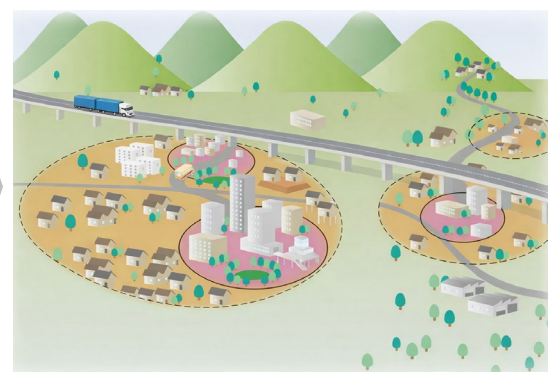
開催状況：第1回 令和8年1月22日  
第2回 令和8年4月10日

第2回自動運転社会実現本部

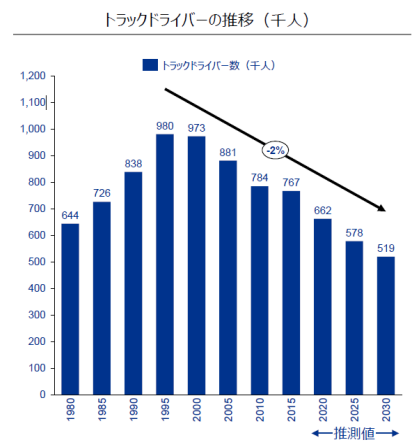
## 自動運転社会の実現に向けた取組

- 自動運転の**意義の効果的な発信**
- 全国各地で行われている**地方自治体の取組を支援**  
(R8年度: 3月27日より公募中、補助上限額4億円、補助率4/5)
- AI技術を活用した高度な自動運転車の**開発・普及を後押し**
  - **優良L2++車の認定制度の創設等**
- 国産自動運転車両の量産化に繋がる**国際基準の策定**
- 自動運転車を支援するインフラ側の取組を推進
  - **路車協調システムの基準類の策定等**

## 自動運転の普及に伴う社会変容



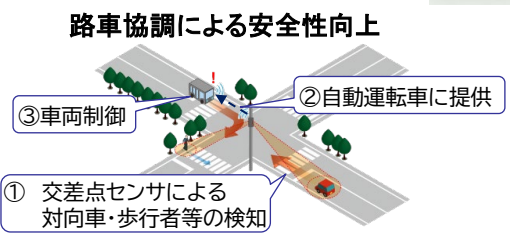
運転手不足が深刻な郊外・中山間地域において、住民の移動の足を確保し、安心して暮らし続けることができる地域環境を構築



**今後導入が見込まれる自動運転車**

日産・Wayve    トヨタ・e-Palette    いすゞ・エルガEV

写真出典：各社ウェブサイト

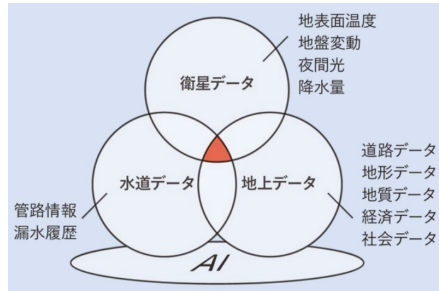


トラック業界の担い手不足に起因する「物流の輸送力不足」が解消

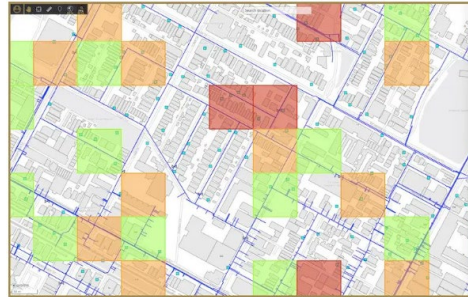
- 持続可能な上下水道システムの構築には、データ・情報・知識等の資源をデジタル技術により活用し、現場の生産性を向上させるとともに業務や働き方を変革する上下水道DXの推進が必要。
- 上下水道のメンテナンスの高度化・効率化に資するデジタル技術をまとめた上下水道DX技術カタログの充実、点検の精度や効率性を高めるための技術開発、DX導入にあたっての財政支援など、引き続き、令和9年度までにDX技術を全国で標準実装させることを目標に取組を推進。
- また、DXや複数自治体による事業運営の一体化等を推進するため、下水道法等の一部改正案を今国会に提出(R8.3.27)し、国の基本方針において、先端的な技術の活用や広域連携を新たに位置づける方向。

## デジタル活用による効果事例

＜人工衛星データを活用したAI管路診断技術による水道の漏水リスク診断＞



水道管の漏水リスクの解析に用いるデータ



メッシュ単位での漏水リスク診断  
(赤が最もリスクが高い)

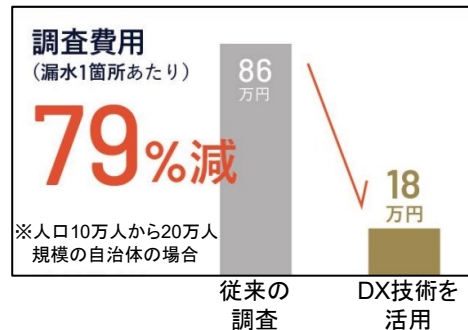
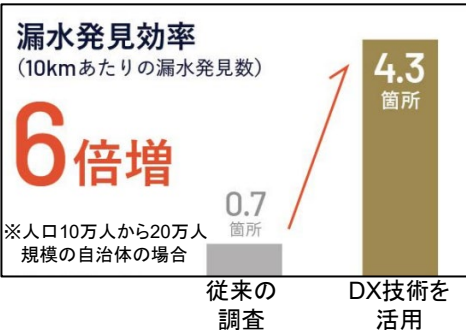
## 上下水道DX技術カタログ

- 自治体における「点検調査」、「劣化予測」、「施設情報の管理・活用」等に活用できる189のデジタル技術を掲載。  
目的・要素技術等の条件から効率的にカタログ掲載技術を引き出すことが可能。

対象施設					
水道			下水道		
取水施設	導水施設	浄水施設	汚水処理施設	汚泥処理施設	ポンプ場施設
送配水施設	給水装置	その他	管路施設	その他	
目的					
点検調査	劣化予測	施設情報の管理・活用			
要素技術					
人工衛星	AI	ビッグデータ解析	ドローン	TVカメラ	
スマートメーター	IoT	センサー	ロボット		

**導入実績** 東京都水道局、福島市上下水道局、佐賀市上下水道局など

### 導入効果



＜掲載技術の例＞

#### ドローンによる管路内の調査技術

- ・ 人では進入困難な狭小空間でも安定飛行が可能
- ・ 硫化水素が滞留するような現場でも安全な場所から点検調査が可能



#### 地中レーダによる空洞調査技術

- ・ 地中レーダを用い、覆工厚さや背面空洞を連続的に調査可能

